

令和6年度 福島県立伊達高等学校 学校経営・運営ビジョン

校訓 「学知利行」 「開心見誠」 「和衷協同」

教育目標

- I 豊かな教養と確かな判断力を兼ね備えた人間を育成する。
- II 良識と責任を持って、自主的・積極的に行動できる人間を育成する。
- III 個人の生命と人格を尊重し、他者と協働できる人間を育成する。



地域の未来を創造する人材の育成

地域の未来を創造する人材を育成します

校長 金成 智子

本校・伊達高等学校は、令和5年4月に梁川高校と保原高校が統合し伊達市唯一の県立高等学校としてスタートし、2年目を迎えました。

本校は、「確かな基礎学力に基づいて発展的に思考する力」や「生徒の個性を伸ばし、力強く未来を切り開く力」、そして「広い視野に立ち、豊かな人間性や望ましい社会観を備え、地域の課題を解決する力」の育成を目指し、「学力の向上」「豊かな人間性の育成」「進路希望の実現」「開かれた学校づくり」を柱に、具体的な重点事項を掲げて実践して参ります。さらに、地域と連携した取り組みを充実させることにより学校の活性化を図るとともに、地域の未来を創造する人材の育成に取り組んで参ります。

1 学力の向上

- ① 授業時数の確保に努め、授業研究の充実を図ることにより、分かる授業、魅力ある授業を実践し、学力の向上に取り組みます。
- ② 教科学習のガイダンス指導を充実させ、適切な学習課題により家庭学習の習慣化を図り、生徒が自己の学習法を確立するよう指導に努めます。
- ③ コース制を取り入れた教育課程の工夫により、多様な進路希望に対応した授業を展開していきます。
- ④ 幅広い知識やものの考え方を身につけさせるため、読書の奨励や図書館利用の促進に努めます。

2 豊かな人間性の育成

- ① 規範意識を高めるとともに、身だしなみや挨拶等の基本的な生活習慣の確立を図り、日常の生活指導の充実に努めます。
- ② 部活動・委員会活動や生徒会行事等の活性化を図り、生徒の自主性や連帯感の育成に努めます。
- ③ 生徒理解を一層推進するとともに、スクールカウンセラー等と連携を図りながら、個に応じた親身な指導を実践し、心身ともに健康な学校生活を送ることができるよう支援します。
- ④ 清掃やボランティア活動等を通して、奉仕と思いやりの精神や自主性の育成を図ります。

3 進路希望の実現

- ① 様々な場面での指導を通して、望ましい勤労観・職業観や社会性の育成に努めます。
- ② 生徒が早期から進路への意識や関心を高めることができるよう、生徒や保護者に進路情報を的確に提供します。
- ③ 生徒全員の個別面談等のきめ細かな親身の指導を通して生徒の自己理解を深めさせ、自ら未来を開拓できる力の育成に努めます。
- ④ 課外指導や小論文指導などの進学や就職対策を充実させ、生徒の進路希望の実現を図ります。

4 開かれた学校づくり

- ① 伊達市唯一の県立高等学校として、地域と連携した教育活動の推進に努めます。
- ② 本校の特色や生徒の活躍等をHPや学校説明会等により、中学校や地域等へ積極的に情報発信します。
- ③ 学校と家庭の連携を強化するとともに、PTA活動の充実を図ります。
- ④ 統合校・伊達高等学校としてこれまでの伝統・文化を継承しつつ、新たな歴史を歩み出す本校に関して、情報発信に努めます。
- ⑤ 学校事故の防止を徹底し、安全、安心な学校づくりの推進に努めます。

【今年度の重点事項】

- A ICT教育を推進し、主体的かつ探求的な学びを深める工夫
(含む一人一台端末の実践活用)
- B 丁寧な学習指導、学びの質・量の確保の工夫、行事等の実施を工夫

【今年度の重点事項】

- C 生徒一人一人に寄り添った組織的な支援体制の充実
- D クラスや部活動、委員会等によるボランティア活動や地域行事への積極的な参加

【今年度の重点事項】

- E 国公立大学をはじめとする生徒の希望する上級学校への進路実現
- F 学年進行で実施する進路指導・行事を通じた個に応じた丁寧な指導
- G 社会状況に対応した就職・進学指導

【今年度の重点事項】

- H 地域と連携した経験的な活動
特に「総合的な探究の時間」の充実
- I 本校・伊達高等学校の特色・生徒の活躍等の中学校・地域等への積極的な情報発信